

## 【報告】

### 大阪府連と3生協共同企画 能登半島地震被災地支援ボランティア報告

2024年10月28日

組織部 前田 倫男

#### 1. 目的

- ・能登半島地震及び豪雨災害における被災地に寄り添う活動について、大阪府連をはじめ、大阪いずみ市民生協、おおさかパルコープと連動しすすめる。(10月～12月までの毎週末)

2. 日程 : 2024年10月26日(金)～27日(日)

3. 訪問先 : 石川県輪島市町野町(まちなち) 金蔵(かなくら)地区、南志見(なじみ)地区

4. 支援内容 : 輪島市で炊き出し(たこ焼き、ホムトンバナナ 約120食)

5. 参加者 : 大阪よどがわ市民生協 6名

貫相談役、彦阪執行役員、加藤統括、福土副支所長、武藤さん、前田

6. 行程 : 10/26(土) 7:40 大阪駅発(サンダーバード号) 途中敦賀から新幹線に乗り換え

9:52 金沢駅着

10:30 金沢駅よりレンタカーで移動(ワンボックス) 途中買い出し

12:30 災害NGO結(ゆい) 七尾市の拠点から備品持ち出し

14:00 輪島市町野町の金蔵(かなくら)地区着

炊き出し(たこ焼き) 準備とすぐに開始

たこ焼き、ホムトンバナナ 48人配布

16:00 炊き出し終了

18:20 輪島市内のホテルにチェックイン(輪島朝市場所の近く)

10/27(日) 8:00 ホテル発

9:30 輪島市町野町の南志見(なじみ)地区着 準備と開始

炊き出し(たこ焼き、ホムトンバナナ)

たこ焼き、ホムトンバナナ 68人配布

11:00 炊き出し終了

12:30 現地出発

13:30 災害NGO結(ゆい) 輪島市町野町の拠点に備品を返却

16:00 金沢駅 レンタカー返却

17:02 金沢駅発

19:39 大阪駅着 解散

#### 7. 感想

- ・6月の府連バスボランティアに参加した時とは、町野町の付近の様子が一変し、いたるところに豪雨の被害が見受けら愕然となった。道路は土砂崩れで片側車線が通行できないなど、危険な状態の箇所が多い。「地震より水害の方がひどい」という声が聞かれた。輪島市内は全国から1日約150名近くのボランティアが活動しているが、主な作業は泥の撤去ということだった。復興には程遠いと思った。そうした中、1日目は輪島市町野町の金蔵(かなくら)地区の集会所でサロンのような形で開催。全体のコーナーもあり、みなさん楽しく懇談されていた。2日目は、輪島市町野町南志見(なじみ)地区の空きスペースで開催。震災後、そのまま自宅に住んでいる方と、仮設住宅に移られた方が、こうしたイベントを通して「久しぶり、元気?！」といったような会話が多く聞かれ、地元の方も呼び込みを手伝い、終始賑やかだった。2日間を通して現地の方から「大阪からわざわざ来てくれてありが

とう。本場のたこ焼きは美味しい」など言ってもらい、少しでもお役に立てていることが実感できた。この取り組みは現地で活動し続け、信頼を構築してきている災害 NGO 結があって成り立っている。今後の支援として組合員にも参加を呼びかけ、炊き出しなど継続する。息の長い支援が必要だと感じた。

## 8. 写真



① 1日目金蔵（かなくら）地区の集会場で開催。約30名の方が来られた。



② 地元の方にもたこ焼きを体験。楽しんでもらった。



③ サロンのようで終始和やかに懇談していました。



④ 2日目南志見（なじみ）地区の空スペースで開催。約30名の方が来られた。



⑤ たこ焼きが焼けるまではバナナを食べながら懇談。



⑥ 地元の高齢の方に寄り添って、お話を聞く職員。



⑦ 輪島市中心街の宿泊ホテルの近くの倒れたビルと倒壊した家屋



⑧ 輪島の朝市跡



⑨ 町野町地区の様子

